

ふれあい遊び

保育者のおひざに乗ったり、抱っこしてもらったりしながらするふれあい遊びの時間は、体も気持ちもほぐれ、ほっこり温かい気持ちになれるひとときです。

目と目が合うと
嬉しいね～



気持ちいいね♡



7月 ももぐみ 一人一人を大切にする日

保育者の思い

身近にいる大人に受け止めてもらい、認めてもらうことで「大切にされている」「うれしい」と感じてほしいと思っています。
保育者や友達とのいろいろな経験を通して、「自分も大好き！友達も大好き！」という気持ちが育ってほしいです。

えほん

「おでこ びたっ」「くつついた」を読みました。どちらの絵本も体と体が触れ合う心地よさが嬉しくなる絵本です。ももぐみでは保育者やお友達と「びったんこ！」をして楽しみ、とても良い表情を見せてくれていました。



びったんこしょ～♡



生活の中で

子どもたちにとって園がお家と同じように居心地の良い場所であってほしいと願っています。

まだまだ言葉が話せない子どもたちですが、「眠たい」「お腹がすいた」「抱っこしてほしい」「あれが欲しい」などの思いを、声を出したり、体を動かしたりして表現しています。

そんな思いを、温かく受け止めてもらうことで、気持ちが満たされ、幸せな気持ちをたくさん感じてほしいと思っています。

はい どうぞー



ちょうだい!!

おともだちみつけた!!

今はまだ一人遊びが中心の年齢ですが、毎日一緒に過ごす中で、友達の存在にも興味をもち始めています。

友達を、じっと目で追っていたり、ハイハイで追いかけたり、手を伸ばして触れてみようとしたり…。友達への興味の芽生えを大切に、少しずつ関わりをもてるようにして、「一緒にいると楽しいな」という経験が重ねられるようにしたいと思っています。

まって!まって-!!



お友達の所に行ってみよう!!



ばあ～

